

議長定例記者会見（H 3 1 . 3 . 1 5）

（報告）

お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。

それでは、私から、2月定例会採決結果について報告します。

知事提出議案133件のうち、平成31年度青森県一般会計予算案を含む議案120件を可決・同意・承認し、報告のみが13件でありました。

議員発議案については、2件が可決となり、3件が否決となりました。

請願については、受理された1件が不採択となりました。

私からは以上でございます。

○記者

今回定例会が閉じたことによって、改選期ということになります。熊谷議長が議長を務められましたこの2年間、大変お忙しい日々だったと思うんですが、振り返ってみての思い出に残っていることとか御感想をお聞きしたいと思います。

○議長

今、質問をされまして、いろいろ思い浮かぶことがございますけども、例えば知事・副知事に同行いたしまして、

韓国・中国・台湾等にも行って参りましたが、インバウンドに対する取り組みというのを目の当たりにいたしまして、なるほどこういう取り組みをしながら確実な成果を上げてきているんだなと実感をいたしました。それから、縄文遺跡群の世界遺産登録に向けまして、幾度となく、文部科学省、あるいは菅官房長官のところにも知事に同行させていただきまして、そういうこともあり、縄文遺跡群が次年度の世界文化遺産推薦候補に事実上決まったということも、印象深いものがございます。それと、これは先月のことでありますけども、天皇陛下の御在位三十周年の記念式典に両陛下、内閣総理大臣、衆参両議長をはじめ国会議員共々、参列をさせていただきまして、非常に光栄に感じましたし、また、天皇陛下のお言葉を聞きまして、感動をいたしました。と同時に、いよいよ平成が終わりを告げるんだなと思いました。おそらく私にとっては一生記憶に残ると思いますし、この平成を振り返り検証しながら、新しい時代のありかたに思いをいたしていかなければならないなとその場でもしみじみ感じました。直近だから余計にそのことが印象に残ったのかもしれないけども、以上のことが印象に残っております。

○記者

今、議長を務め上げてきた2年間ということ、近年、青森県議会の方でも議会改革ということ、いろいろ取り組んできたんですけども、この2年間で改革の取り組みができたかどうかも含めて、ご自身でどのように捉えられているかお聞かせいただければと思います。

○議長

一般質問の再質問の一問一答方式というのを私が議長になってから実行したということは一つあると思います。

あとは、以前申し上げたことがあるかもしれませんが、改革がもちろん必要なことは存じ上げておりますが、しかしそれはあくまで手段であって、目的は県民に開かれた信頼される議会にしていくことだと思っておりますので、そこに向けた取り組みは着実にやってきたつもりですし、今後とも継続していく必要があるかと思えます。

○ 記者

改選でこれから県議選に入るわけですが、全国的に見ても青森県議会というのは女性議員が少なく、県議として務められている立場から、どのようにしたら女性議員がもう少し増えるのかとか、今のご所感をお伺いしたいんですけど。

○ 議長

どうしたら女性議員が増えるかということですが、是非奮起していただきたいと思えます。いろいろと議員として活動というのか、その前に選挙というのはあるんだと思えますけども、そこに至るまでにいろいろと困難があるかもしれませんが、そういうことを是非乗り越えて政治に挑戦をしていただきたいと思えます。

以上です。